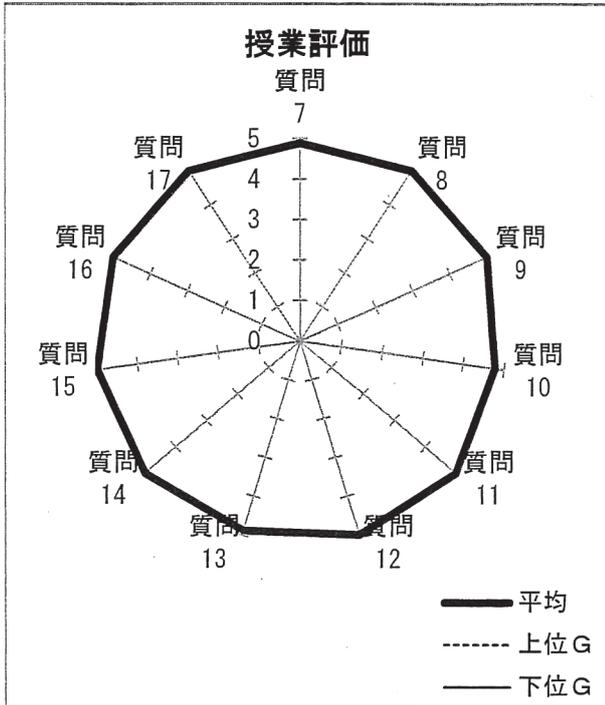


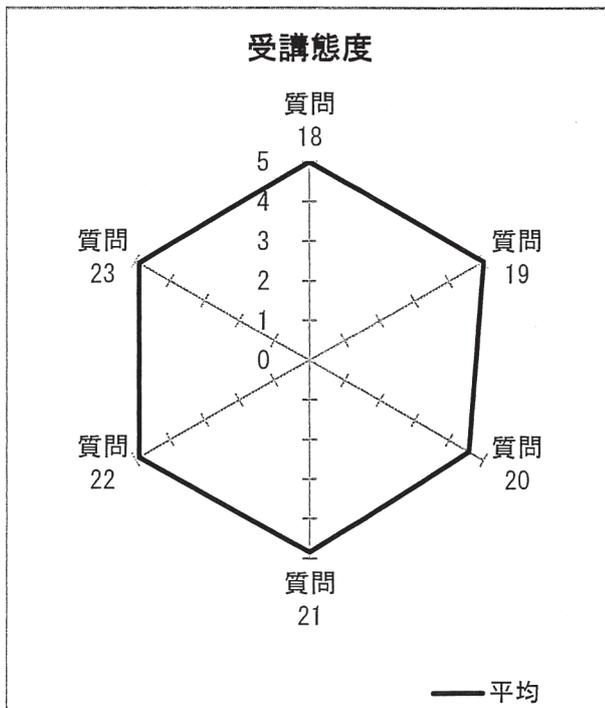
# 科目コード 402 (2017年度 前期)

音楽学部 音楽学科 草場 紀久子 アンサンブル Ia～IVa



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 8	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 9	5.0	5.0	#DIV/0!
質問10	4.8	4.8	#DIV/0!
質問11	5.0	5.0	#DIV/0!
質問12	5.0	5.0	#DIV/0!
質問13	4.9	4.9	#DIV/0!
質問14	5.0	5.0	#DIV/0!
質問15	5.0	5.0	#DIV/0!
質問16	5.0	5.0	#DIV/0!
質問17	5.0	5.0	#DIV/0!
平均	5.0	5.0	#DIV/0!

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	5.0
質問19	5.0
質問20	4.6
質問21	4.8
質問22	4.9
質問23	4.9
平均	4.9

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
音楽学部	音楽学科	草場紀久子	アンサンブル I a~IV a	19人

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

## I. 分析と評価

授業評価の質問11項目、受講態度6項目についてほぼ満点の評価となった。

管打楽器専攻生にとって、実技研究(個人レッスン)と同等に専門性の高い授業であるという認識が、学生に浸透してきた結果と見られる。グループ分け、授業時間外での合わせ時間の確保、演奏機会に合わせた教材、アンサンブル曲の選定、等の計画が効果的に組み立てられたと感じる。また複数のグループ同士の競い合う感覚も有効に作用したように感じられる。

## II. 2018年度に向けての取り組み

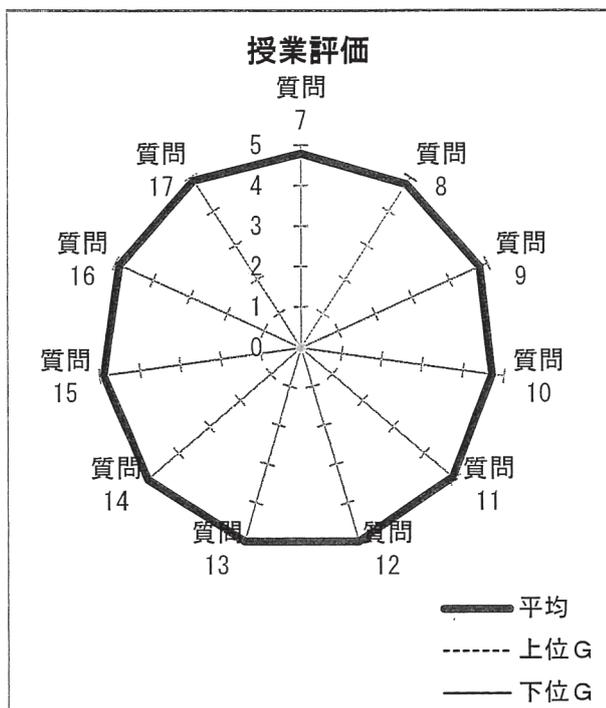
2018年度担当予定科目名：アンサンブル I a~IVa

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

2018年度は管楽器専攻生の新たな入学生が人数的に増える予定である。引き続き、教育的観点からの各グループ分けに留意し、効果的な曲の選定や演奏機会の確保に努めたい。イギリスの音楽院で良く指導されていた、合わせに際してのミュージシャンシップ、マナーについても言及したい。

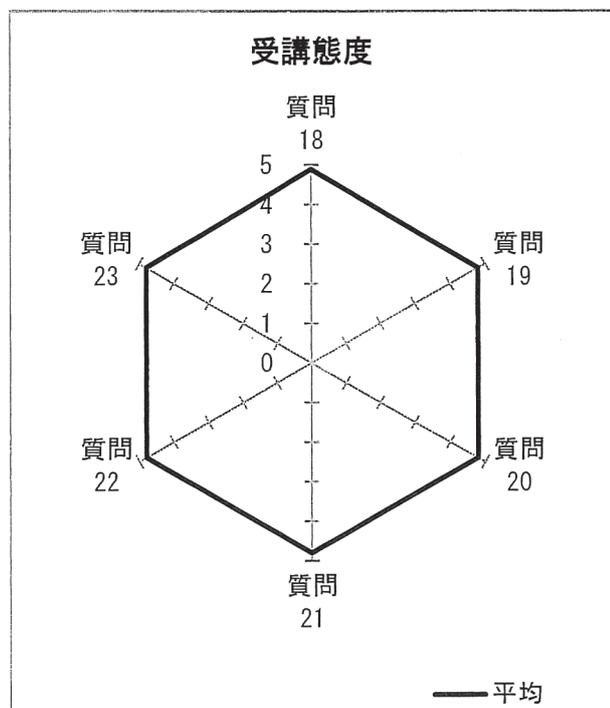
# 科目コード 403 (2017年度 前期)

音楽学部 音楽学科 椎名 雄一郎 即興演奏 Ia



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.8	4.8	#DIV/0!
質問 8	4.8	4.8	#DIV/0!
質問 9	4.8	4.8	#DIV/0!
質問10	4.7	4.7	#DIV/0!
質問11	4.9	4.9	#DIV/0!
質問12	5.0	5.0	#DIV/0!
質問13	5.0	5.0	#DIV/0!
質問14	5.0	5.0	#DIV/0!
質問15	4.9	4.9	#DIV/0!
質問16	4.9	4.9	#DIV/0!
質問17	4.9	4.9	#DIV/0!
平均	4.9	4.9	#DIV/0!

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施  
 質問 8 : 教員の授業時間遵守  
 質問 9 : 教員の話し方  
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用  
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ  
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)  
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応  
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映  
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか  
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか  
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.9
質問19	4.8
質問20	4.8
質問21	4.8
質問22	4.8
質問23	4.8
平均	4.8

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか  
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか  
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3...)  
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか  
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか  
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学部名	学科名	担当者名	科目名	履修者数
音楽学部	音楽学科	椎名雄一郎	即興演奏 I a	12

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

### I. 分析と評価

この科目は音楽学部2年生の管楽器専攻生を中心とした即興のクラスである。全体的にまとまりもあり、授業に対して1人1人が積極的に取り組んでいた。

評価としてはおおむね良い評価だったと感じる。特に授業環境、質問機会の確保、理解度の確認については5.0である。

一方、教材・機器・板書等の効果的な使用は4.7となっている。管楽器の即興演奏については私自身、管楽器の専門ではないため、教材などで様々な試みをしてきたため、全体としてまとまりが亡くなってしまった可能性がある。しかし実際の度数としてはどちらかといえばそう思う、どちらともいえないに1度ずつで、否定的なものではなかったかもしれない。

### II. 2018年度に向けての取り組み

2018年度担当予定科目名：即興演奏 I a

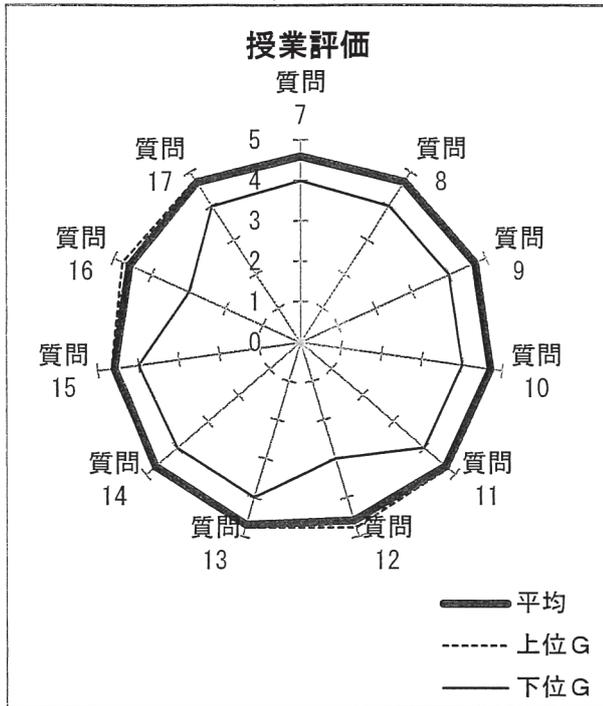
(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

今年度は手探り状態でこの科目を受け持ったため、学生にとって新鮮だった部分と教材などもう少し効果的な使用があるのではないかとの意見をいただいたと感じている。さらに教材研究により効果的に授業を進めることができるようにしたい。

また毎年学生の管楽器の楽器編成に変化があるため、それに対しても柔軟に対応していきたい。

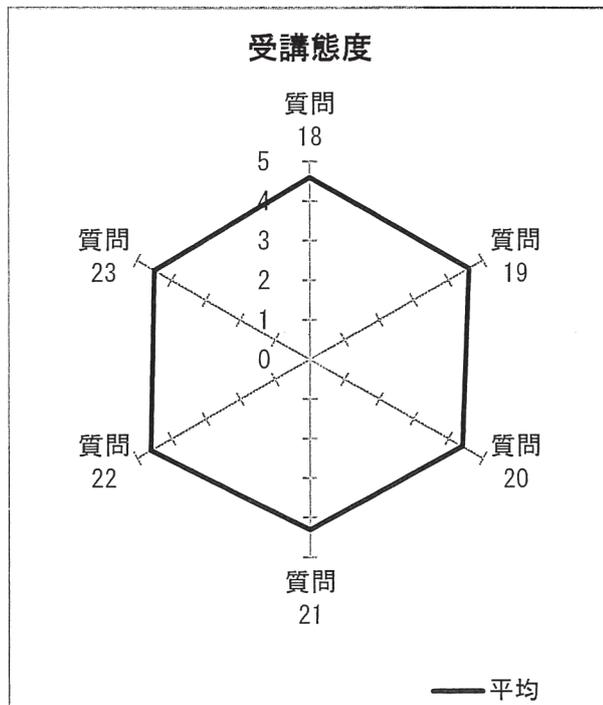
# 科目コード 405 (2017年度 前期)

音楽学部 音楽学科 加藤 豊 楽曲分析



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.6	4.7	4.0
質問 8	4.7	4.8	4.0
質問 9	4.7	4.8	4.0
質問10	4.7	4.8	4.0
質問11	4.7	4.8	4.0
質問12	4.6	4.8	3.0
質問13	4.7	4.8	4.0
質問14	4.7	4.8	4.0
質問15	4.6	4.7	4.0
質問16	4.6	4.8	3.0
質問17	4.7	4.8	4.0
平均	4.7	4.8	3.8

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施  
 質問 8 : 教員の授業時間遵守  
 質問 9 : 教員の話し方  
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用  
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ  
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)  
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応  
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映  
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか  
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか  
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.6
質問19	4.6
質問20	4.4
質問21	4.3
質問22	4.6
質問23	4.5
平均	4.5

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか  
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか  
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)  
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか  
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか  
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
音楽学部	音楽学科	加藤 豊	楽曲分析	13

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

## I. 分析と評価

音楽理論Ⅰ・Ⅱで習得した知識を使って学ぶ“楽曲分析”は理論講義としては難度の高い授業である。特に、音楽理論Ⅱbで学んだ“楽式論”はこの講義におけるすべての基礎知識となる。

今年度、例年並みの成果が表われていると思われる。つまり講義内容の理解度に関して言えば、受講生全員が一樣に理解しているような数値が出ている。ただ、若干名（これはコースの違いからおこるのか）基礎知識なしで受講する学生にとってはかなり難度が高いと思われる。

グラフでは全体が極めて平均的な数値であるのに対して、おそらく1名、2名、理解度が低い学生がいる事を示している

## II. 2018年度に向けての取り組み

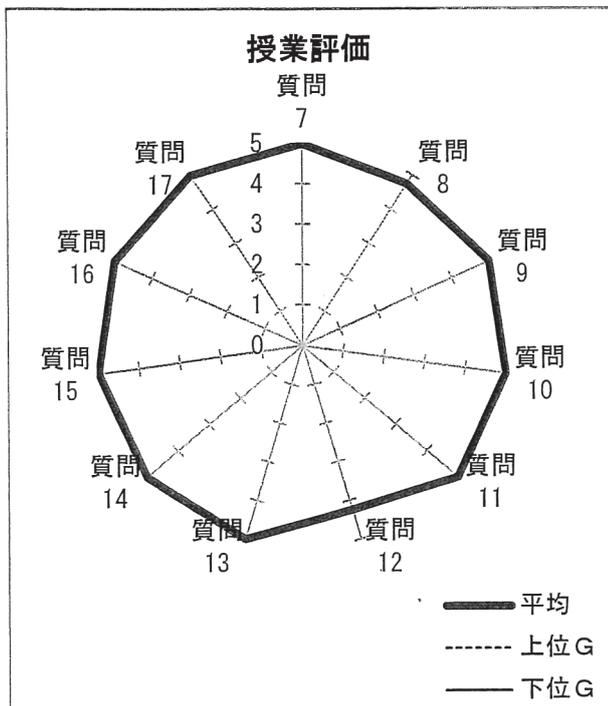
2018年度担当予定科目名： \_\_\_\_\_ 楽曲分析 \_\_\_\_\_

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

4年生における卒業研究、レポート、卒業論文につらなる準備段階としてこの講義のポジションは重要である。音楽理論の集大成としての理解度を学生に期待したい。そのためには、1,2年生における音楽理論について基礎学習が重要である。自分は、この科目の担当はあと数年続くと思われるので、特に、理解度が低い学生に対するケアを考えたい。

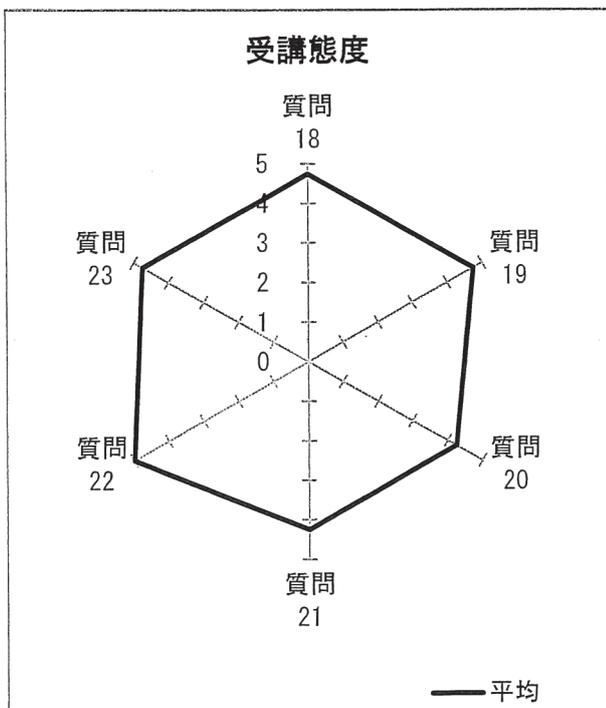
科目コード 407 (2017年度 前期)

音楽学部 音楽学科 吉田 峰明 音楽ジャンル論



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 8	4.8	4.8	#DIV/0!
質問 9	5.0	5.0	#DIV/0!
質問10	5.0	5.0	#DIV/0!
質問11	5.0	5.0	#DIV/0!
質問12	4.3	4.3	#DIV/0!
質問13	5.0	5.0	#DIV/0!
質問14	5.0	5.0	#DIV/0!
質問15	5.0	5.0	#DIV/0!
質問16	5.0	5.0	#DIV/0!
質問17	5.0	5.0	#DIV/0!
平均	4.9	4.9	#DIV/0!

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.8
質問19	4.8
質問20	4.3
質問21	4.3
質問22	5.0
質問23	4.8
平均	4.6

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
音楽学部	音楽学科	吉田峰明	音楽ジャンル論	4

2017年度前期授業評価アンケート集計結果： 教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

## I. 分析と評価

この科目は、1年生を対象として行うのは本年度が最後となるため、ここで検証しておく必要を感じた。評価結果としてはおおむね納得のいくものであった。音楽文化コース発足以来の科目で、工夫・改善を重ねてきたつもりだが、一応の成果を見たと思う。もとより細かく見ると、やや気になる項目がないわけではないが、これはこれで完結させてよいと判断できる。ちなみに来年度からの新カリキュラムでは4年生を対象に、かなり専門的な内容として行うが、移行期として間に3年間はさむことになる。この間、これまでの蓄積を活かして新たな「音楽ジャンル論」の準備を行う。

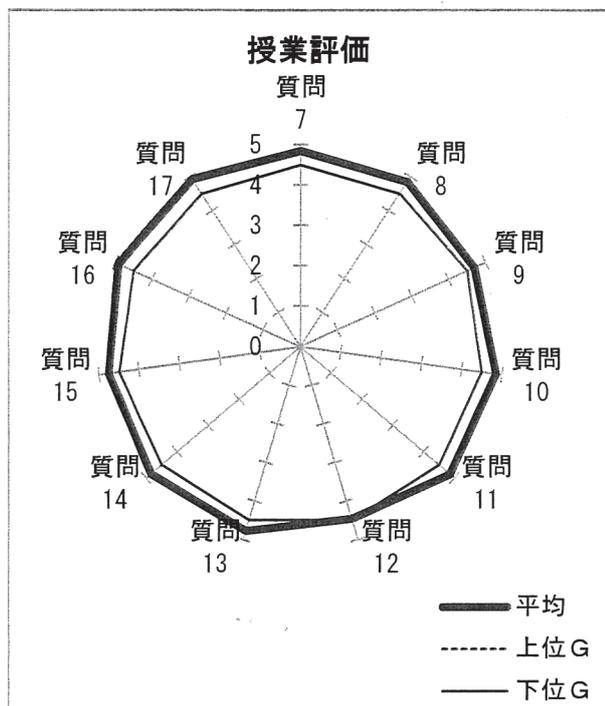
## II. 2018年度に向けての取り組み

2018年度担当予定科目名：音楽概論

今回の「音楽ジャンル論」に代わり、新カリキュラムでは音楽文化コース1年生にこの科目を指導する。今のところ準備段階だが、音楽一般についての知識を中心に構築する。受講生がどれだけ吸収できるか、授業評価を通して把握したい。

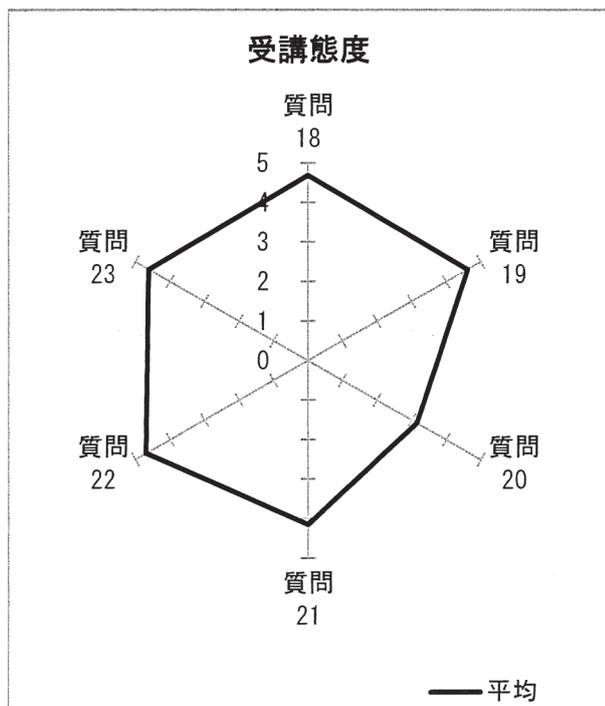
# 科目コード 408 (2017年度 前期)

音楽学部 音楽学科 古賀 幹敏 音楽療法概論



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.8	4.9	4.5
質問 8	4.8	4.9	4.5
質問 9	4.7	4.7	4.5
質問10	4.8	4.9	4.5
質問11	4.8	4.9	4.5
質問12	4.5	4.5	4.5
質問13	4.8	4.8	4.5
質問14	4.8	4.9	4.5
質問15	4.8	4.8	4.5
質問16	4.9	5.0	4.5
質問17	4.9	5.0	4.5
平均	4.8	4.9	4.5

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施  
 質問 8 : 教員の授業時間遵守  
 質問 9 : 教員の話し方  
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用  
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ  
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)  
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応  
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映  
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか  
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか  
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.7
質問19	4.6
質問20	3.2
質問21	4.2
質問22	4.7
質問23	4.6
平均	4.3

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか  
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか  
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)  
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか  
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか  
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
音楽学部	音楽学科	古賀幹敏	音楽療法概論	15名

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

### I. 分析と評価

一年生の受講が中心になる講座である。大学生になって音楽学部生として初めての音楽と医療を混合させた内容に戸惑うことが無いように内容に配慮した。今年度はシラバスの内容・目標を授業開始に当たって説明の後に講義を行なった。このためであろうか、上位グループと下位グループとの特点に大きな差が見られないのが特徴のように思える。

### II. 2018年度に向けての取り組み

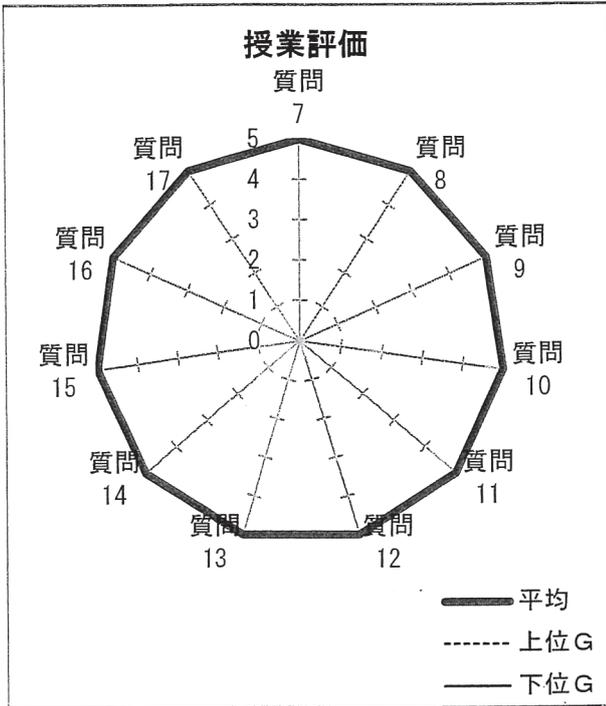
2018年度担当予定科目名： 音楽療法概論

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

学生の欠席回数が2回ではあるが、講義の性質上一度の欠席が科目全体の理解に大きな影響を与えるので欠席についての講義における学生自身が受ける不利益を明確にして行きたい。

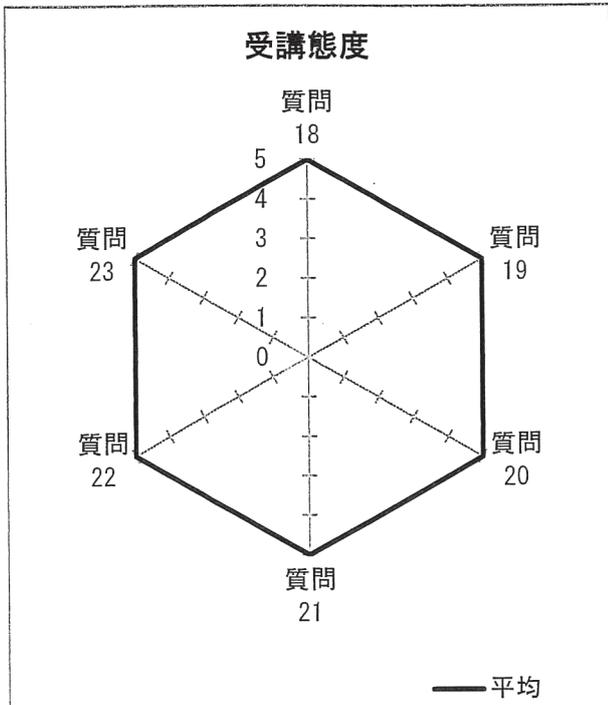
科目コード 417 (2017年度 前期)

音楽学部 音楽学科 碓井 貴美子 演奏表現研究Ⅲ



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 8	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 9	5.0	5.0	#DIV/0!
質問10	5.0	5.0	#DIV/0!
質問11	5.0	5.0	#DIV/0!
質問12	5.0	5.0	#DIV/0!
質問13	5.0	5.0	#DIV/0!
質問14	5.0	5.0	#DIV/0!
質問15	5.0	5.0	#DIV/0!
質問16	5.0	5.0	#DIV/0!
質問17	5.0	5.0	#DIV/0!
平均	5.0	5.0	#DIV/0!

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施  
 質問 8 : 教員の授業時間遵守  
 質問 9 : 教員の話し方  
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用  
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ  
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)  
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応  
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映  
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか  
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか  
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	5.0
質問19	5.0
質問20	5.0
質問21	5.0
質問22	5.0
質問23	5.0
平均	5.0

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか  
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか  
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)  
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか  
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか  
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
音楽学部	音楽学科	碓井貴美子	演奏表現研究Ⅲ	2人

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

## I. 分析と評価

4年生のピアノ実技にもなるとかなりの大曲をレッスンすることとなります。

この2人の学生とは1年の時から実技を担当しておりますが、とても勉強熱心で意欲的で、何より音楽を作り上げていくことに大変魅力を感じているように思います。素直にこちら側のアドバイスを耳を傾け、それらを自分のものに、自分の色にしようと、日々演奏を向上するために努力しています。

レッスンという形態は、人間同士の信頼と尊敬の気持ちがあつてこそ成り立ちます。自分たちに足りないエッセンスや技術を私から盗み取ろうと毎回のレッスンは真剣勝負です。その結果、彼女たちは非常に上達いたしました。自らの意欲と結果がうまく噛み合い満足いく結果を残していることに、自信と更なる飛躍を求めて邁進することと思います。私も学生の成長にほほえましく思っております。

## II. 2018年度に向けての取り組み

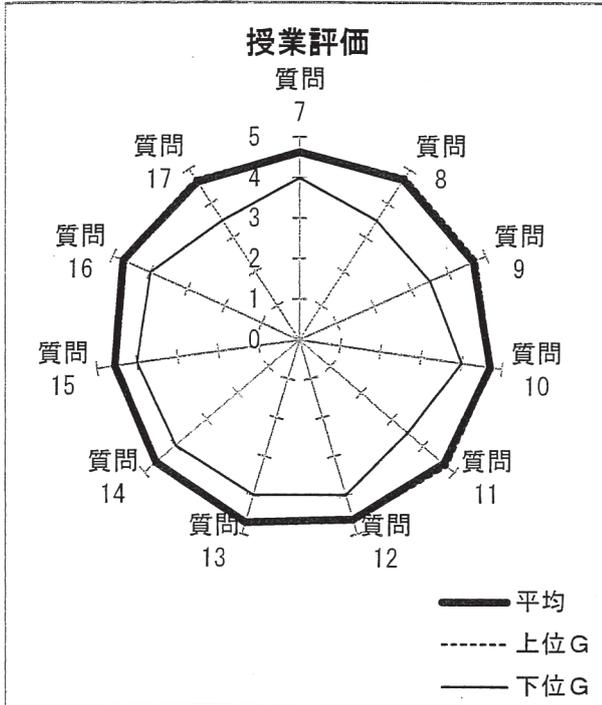
2018年度担当予定科目名：演奏表現Ⅲ

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

新4年生のレッスンも同じようにおこなってまいりたいと思っております。卒業年度でもあることから、進学や就職に向けて的確にアドバイスをおこない、学生の意欲向上にも重点を置きながら、レベルに沿って、わかりやすく丁寧に指導してまいりたいとも考えております。

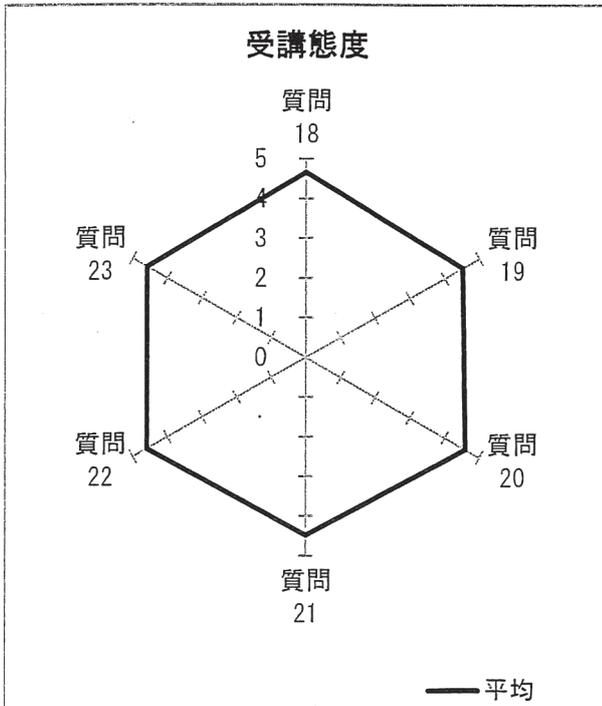
科目コード 418 (2017年度 前期)

音楽学部 音楽学科 草場 紀久子 楽器学



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	4.6	4.7	4.0
質問 8	4.7	4.8	3.5
質問 9	4.7	4.8	3.5
質問10	4.7	4.8	4.0
質問11	4.7	4.8	3.5
質問12	4.6	4.7	4.0
質問13	4.7	4.8	4.0
質問14	4.6	4.7	4.0
質問15	4.6	4.6	4.0
質問16	4.7	4.8	4.0
質問17	4.6	4.7	3.5
平均	4.7	4.7	3.8

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施  
 質問 8 : 教員の授業時間遵守  
 質問 9 : 教員の話し方  
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用  
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ  
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)  
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応  
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映  
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか  
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか  
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



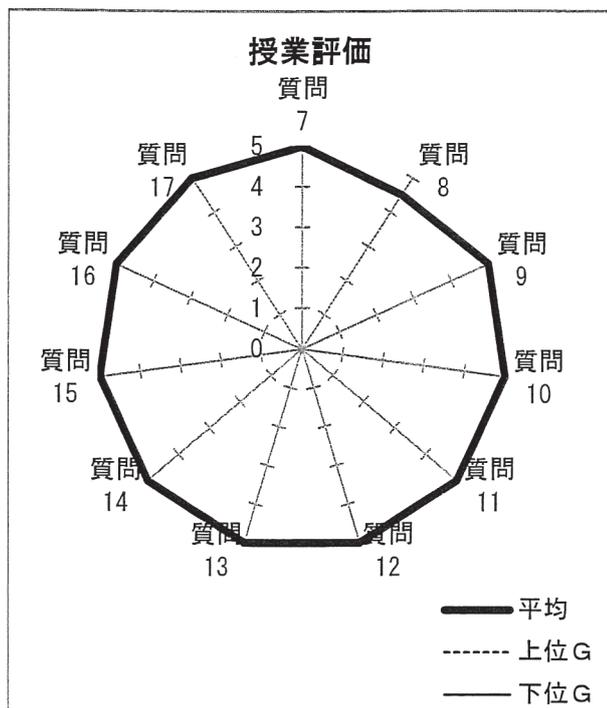
質問項目	平均
質問18	4.7
質問19	4.5
質問20	4.6
質問21	4.5
質問22	4.6
質問23	4.6
平均	4.6

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか  
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか  
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3...)  
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか  
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか  
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴



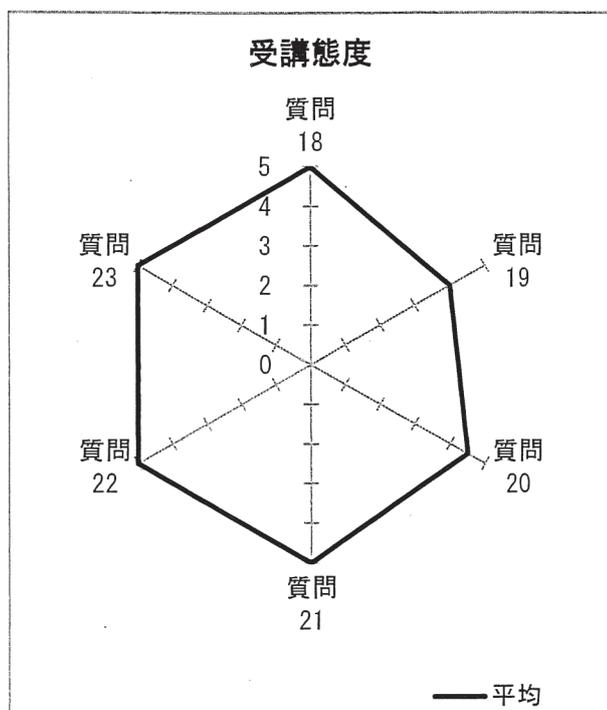
# 科目コード 420 (2017年度 前期)

音楽学部 音楽学科 持松 朋世 演奏表現・教育研究 I a



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 8	4.5	4.5	#DIV/0!
質問 9	5.0	5.0	#DIV/0!
質問10	5.0	5.0	#DIV/0!
質問11	5.0	5.0	#DIV/0!
質問12	5.0	5.0	#DIV/0!
質問13	5.0	5.0	#DIV/0!
質問14	5.0	5.0	#DIV/0!
質問15	5.0	5.0	#DIV/0!
質問16	5.0	5.0	#DIV/0!
質問17	5.0	5.0	#DIV/0!
平均	5.0	5.0	#DIV/0!

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	5.0
質問19	4.0
質問20	4.5
質問21	5.0
質問22	5.0
質問23	5.0
平均	4.8

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
音楽学部	音楽学科	持松朋世	音楽表現・教育研究Ⅰa	2名

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

## I. 分析と評価

授業の実際と集計結果より当事者が授業を行う中で、学生の授業評価と受講態度において本評価は平均的なものと受け止める。授業評価は勿論であるが、受講態度も教員の授業の臨み方次第であると思われるので、今回の結果を受けて学生を如何に授業に臨ませるか、授業へのアプローチの仕方においても検討の必要性を感じる。

これらの結果から授業の振り返りを行うことが出来ることは大変有意義なことであり、今後その他の授業でも振り返りを行うことで、より良い授業を行う為の検討を行っていききたい。

## II. 2018年度に向けての取り組み

2018年度担当予定科目名：声楽研究・音楽表現教育研究Ⅱ 他

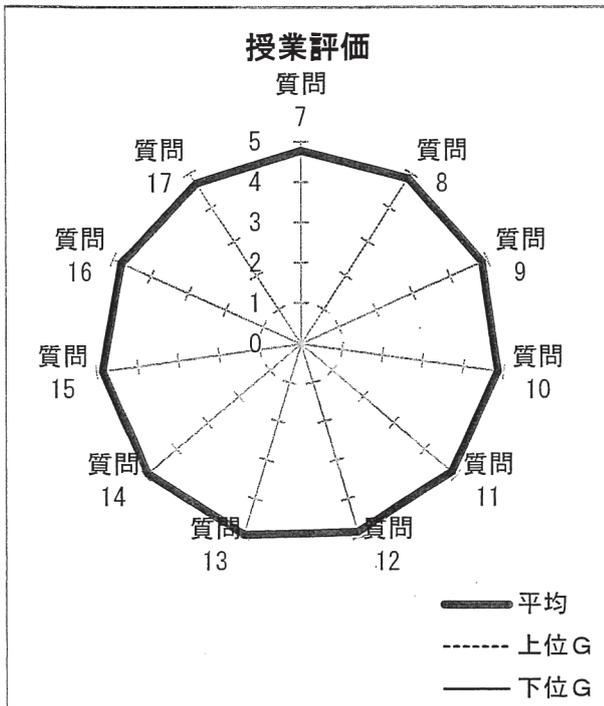
(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

2018年度も同様に主科実技・副科実技など声楽のレッスンを行うことになると思われる。本授業の受講者は声楽専攻や教育専攻の学生であるためレッスンが一方通行ではなく、何を目的として行っているのか、具体的にはどのようにすると改善されていくのかなど具体的に考える作業を伴うことで、より教育現場での指導法に活かされるレッスンを目指していることを伝えていきたい。

特に実技では言葉で伝えられないことも学生は教員の演奏の提示一つで伝わってしまうという厳しさを忘れずに、教員も精進しつつ、緊張感を持って授業に臨みたい。

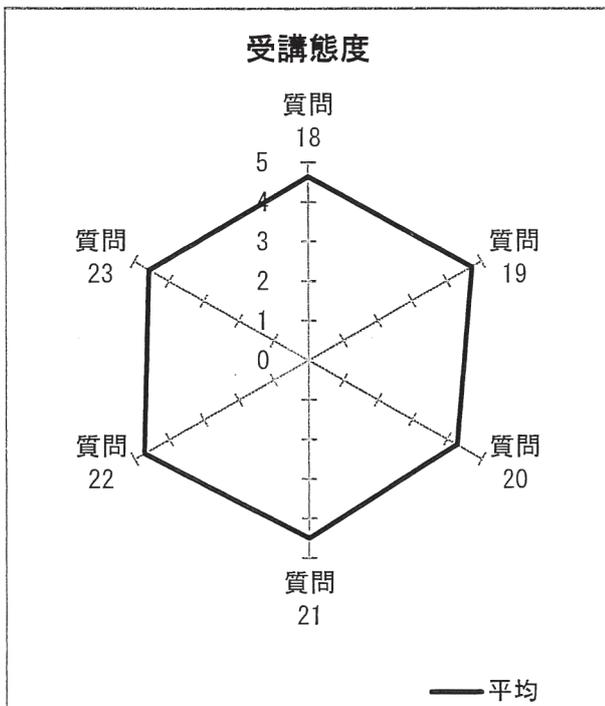
科目コード 423 (2017年度 前期)

音楽学部 音楽学科 吉田 峰明 コンピュータ研究Ⅱ



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	4.8	4.8	#DIV/0!
質問 8	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 9	4.9	4.9	#DIV/0!
質問10	4.9	4.9	#DIV/0!
質問11	4.9	4.9	#DIV/0!
質問12	4.9	4.9	#DIV/0!
質問13	4.9	4.9	#DIV/0!
質問14	4.9	4.9	#DIV/0!
質問15	4.9	4.9	#DIV/0!
質問16	4.8	4.8	#DIV/0!
質問17	4.7	4.7	#DIV/0!
平均	4.8	4.8	#DIV/0!

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施  
 質問 8 : 教員の授業時間遵守  
 質問 9 : 教員の話し方  
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用  
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ  
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)  
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応  
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映  
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか  
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか  
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.6
質問19	4.7
質問20	4.3
質問21	4.5
質問22	4.7
質問23	4.6
平均	4.6

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか  
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか  
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3...)  
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか  
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか  
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
音楽学部	音楽学科	吉田峰明	コンピュータ研究Ⅱ	14

2017年度前期授業評価アンケート集計結果： 教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

## I. 分析と評価

自分で言っても仕方がないが、評価を見る限り申し分ないと思う。この科目では動画制作を通して、コンピュータを楽しく身に着けることを目的とし、最後には制作作品の提出を課しているが、受講生たちはほんとうに素晴らしい作品を制作してくれた。昨年度から受講生同士による投票を行っているが、私の評価と学生たちの評価はおおむね一致しており、とりわけ最優秀作品は、よくぞここまでがんばった、とエールを送りたくなるような出来だった。コンピュータは人によって得手不得手があり、必ずしも全員が同じペースで学べるものではないが、こうして楽しい作品制作を通して学べばそれぞれなりにパソコンの可能性を会得できるようだ。なお入賞作品はRドライブに保存し、学生たちはいつでも見れるようにしている。著作権への注意だけは忘れずに指導している。

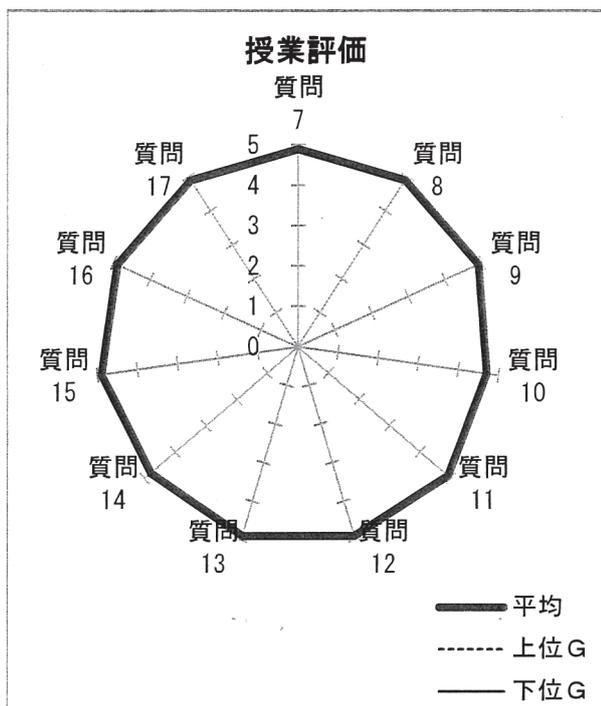
## II. 2018年度に向けての取り組み

2018年度担当予定科目名：音楽基礎講座 a

来年度からの新カリキュラムにて、1年生全員に必修として課す科目。現代において多様化した音楽の諸相の中、つい見過ごしがちな音楽の基礎部分について、音楽を専門に学ぶ学生として必要な知識や能力とはなになのか、等を指導する予定。新たなジェネレーションの学生たちがそこからどれだけ学び取るか把握したい。

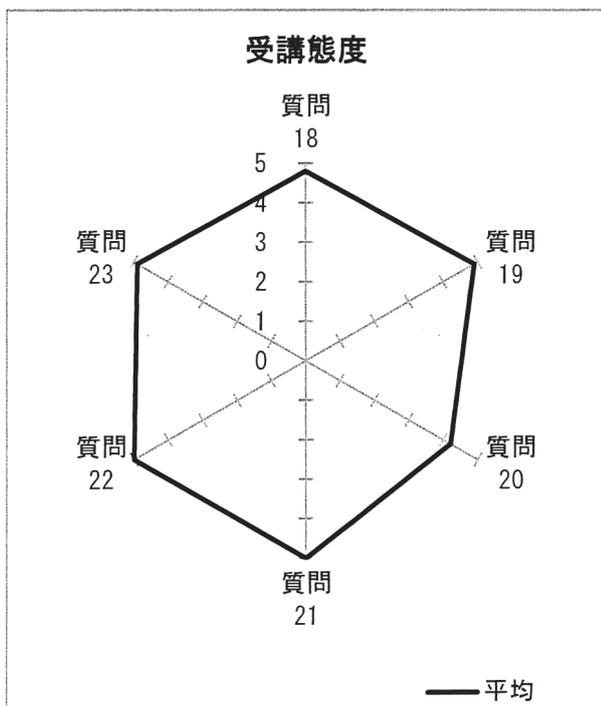
# 科目コード 424 (2017年度 前期)

音楽学部 音楽学科 古賀 幹敏 音楽療法各論 I



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 8	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 9	4.9	4.9	#DIV/0!
質問10	4.7	4.7	#DIV/0!
質問11	4.9	4.9	#DIV/0!
質問12	4.9	4.9	#DIV/0!
質問13	4.9	4.9	#DIV/0!
質問14	4.8	4.8	#DIV/0!
質問15	4.9	4.9	#DIV/0!
質問16	4.9	4.9	#DIV/0!
質問17	4.9	4.9	#DIV/0!
平均	4.9	4.9	#DIV/0!

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施  
 質問 8 : 教員の授業時間遵守  
 質問 9 : 教員の話し方  
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用  
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ  
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)  
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応  
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映  
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか  
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか  
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.8
質問19	4.9
質問20	4.2
質問21	5.0
質問22	5.0
質問23	4.9
平均	4.8

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか  
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか  
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3...)  
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか  
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか  
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
音楽学部	音楽学科	古賀幹敏	音楽療法各論 I	11名

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

#### I. 分析と評価

11名の受講生の得点が全て一致していて、上位・下位のグループに分離していないのが今回の特徴であろう。またほとんどの項目で4.9と高得点であるのも特記できるかと思われる。唯一教材・機器項目で4.7とあるのが気になっている。講座の内容から教材・機器でのプレゼンテーションが難しいので、板書での方法に工夫を加えてみたい

#### II. 2018年度に向けての取り組み

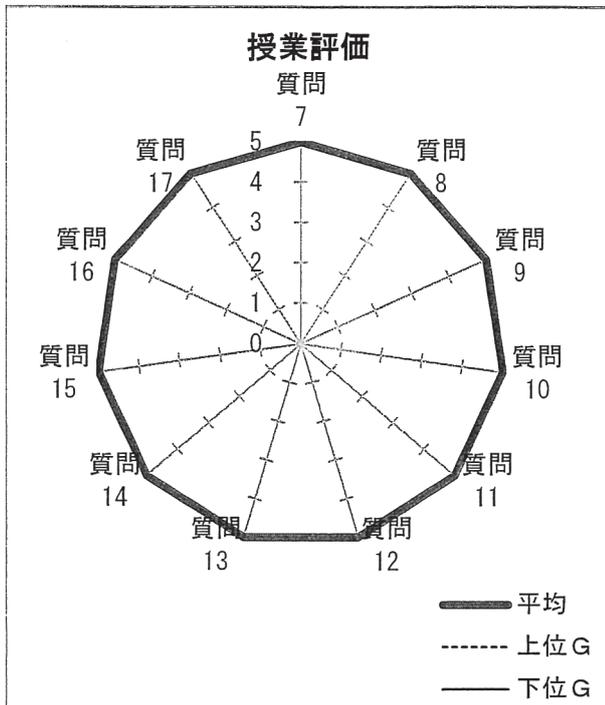
2018年度担当予定科目名： 音楽療法各論 I

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

学生の欠席回数のみが低い得点になっている。欠席に対する注意を講義の最後に行なうことや欠席の不利益について詳細に説明を付け加えたい。

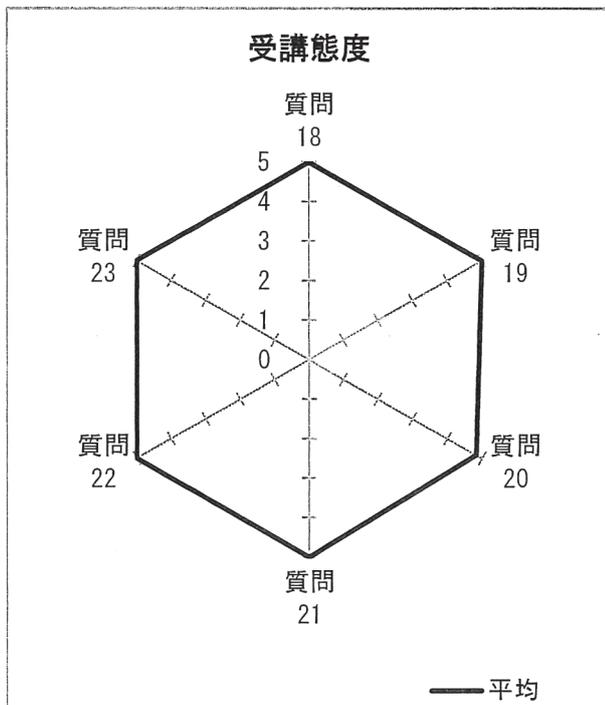
科目コード 425 (2017年度 前期)

音楽学部 音楽学科 三好 直英 アンサンブル I II III IVa



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 8	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 9	5.0	5.0	#DIV/0!
質問10	5.0	5.0	#DIV/0!
質問11	5.0	5.0	#DIV/0!
質問12	5.0	5.0	#DIV/0!
質問13	5.0	5.0	#DIV/0!
質問14	5.0	5.0	#DIV/0!
質問15	5.0	5.0	#DIV/0!
質問16	5.0	5.0	#DIV/0!
質問17	5.0	5.0	#DIV/0!
平均	5.0	5.0	#DIV/0!

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	5.0
質問19	5.0
質問20	4.8
質問21	5.0
質問22	5.0
質問23	5.0
平均	5.0

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
音楽学部	音楽学科	三好直英	アンサンブル I II III IVa	6名

2016年度後期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2017年度に向けての取り組み

## I. 分析と評価

- ・質問7～17において平均値が5.0、質問18～23においては平均値が5.0であった。(上位G6名)
- ・前年度を経て受講学生の意識がさらに高まり、それにともない習熟度もあがり、また演奏発表の場も多く実践的になったことからより理解度が上がったと感じる。
- ・アンサンブルという複数の人数で成立するものなので、全員が揃っての予習・復習が困難であったと考えられる。その中で学生は前年度も感心したが限られた時間の中で対処しそれを飛躍させたこと、また練習の創意工夫した点を非常に高く評価したい。
- ・アンサンブル授業の延長として第二回ホルンアンサンブル定期演奏会を成功させることも目標としている。

## II. 2017年度に向けての取り組み

2017年度担当予定科目名：\_\_\_\_\_

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

- ・さらにホルン専攻生として必要なレパートリーをさらに増やし、ハーモニー楽器としてのアンサンブルのスキルを身に付けていけるようにつとめたい。